

令和8年度予算編成の基本的な考え方

あかしSDGs推進計画（第6次長期総合計画）に掲げる目指すまちの姿「SDGs未来安心都市・明石」の実現に向けては、厳しい財政状況であっても、市民一人ひとりに寄り添いながら、必要な施策をきめ細やかに推進していかなければなりません。

そのため、市民との対話により行政課題の本質を見極め、選択と集中を徹底し、限られた財源を効率的・効果的に活用するとともに、産官学民との共創によるまちづくりを積極的に推進することで、すべての市民が安心して暮らし続けられ、市民一人ひとりが心豊かに幸せ（ウェルビーイング）を実感できる“もっと”やさしいまち明石の創造を目指します。

1 あかしSDGs後期戦略計画の着実な推進

現在、あかしSDGs後期戦略計画の策定を進めており、後期戦略計画に掲げる施策の効果的・効率的な展開を進めます。

また、後期戦略計画では、まちづくりを推進するにあたって、重点的に推進する施策を設定します。

以下の視点に基づき、各施策の推進や事業の検討を進めます。

① 「こどもを核としたまちづくり」、「誰にもやさしいまちづくり」の深化

「こどもを核としたまちづくり」、「誰にもやさしいまちづくり」について、今後も、こどもまんなか社会や誰もがありのままでいられ支え合う共生社会の実現に向けて、これまでの取組の継続に加えて、市民一人ひとりに寄り添うやさしい取組の深化を図ります。

② 対話と共創のまちづくりの推進

市民と共にみんなでまちを創っていくことを目指して、2024年に「共創元年」を宣言し、様々な場面での対話を通して市民に寄り添い、産学官民の多様な主体との共創できめ細やかな取組を展開する「対話と共創のまちづくり」を推進しています。

また、今年度は、産官学民の多様な主体が参画し、共創によって新たな価値を生み出す「あかし共創プラットフォーム」が立ち上がりました。庁内においても、同プラットフォームに積極的に参画することで、想像力を持って、他部署との連携や共創によって横ぐしを通し、より効果的・効率的で市民生活がより良くなるよう事業の展開を図ります。

③ 人口を維持するための経済・社会・環境の三側面からの戦略の推進

将来的には、本市においても人口減少は避けられないことから、人口減少社会を迎えたとしても、安心して暮らすことができるまちづくりにも取り組んでいく必要があります。

一方で、本市の将来人口推計を見ると、当面は、まちづくりの数値目標である 30 万人を維持できる予測があることから、人口減少の到来を遅らせるとともに、人口減少のスピードをできるだけ緩やかにしていくために、自然増対策や社会増対策などの様々な施策を講じることで、まちづくりの数値目標である人口 30 万人の維持を目指し、持続可能なまちづくりを目指します。

2 現時点で新規・拡充を検討している事業

(1) 豊かな自然と共生し、暮らしの質を高める

- ・ネイチャーポジティブの推進
- ・「ゼロ・ウェイストあかし」、「ゼロ・カーボンあかし」の推進
- ・路上喫煙防止に向けた取組

(2) 笑顔あふれる共生社会をつくる

- ・認知症あかしプロジェクトの充実
- ・介護予防（フレイル予防）に向けた取組の充実
- ・DV 被害者及び困難な問題を抱える女性への支援の充実

(3) こどもの育ちをまちのみんなで支える

- ・妊娠・子育てまるごと寄り添い支援の充実
- ・小学校体育館への空調整備
- ・不登校児童生徒への支援の充実

(4) 安全・安心を支える生活基盤を強化する

- ・ハザードマップの改定
- ・多様な市民ニーズに対応した避難所の充実
- ・消防体制の強化（救急隊の増隊など）

(5) まちの魅力を高め、活力と交流を生み出す

- ・大蔵海岸の魅力向上
- ・持続可能な農業振興の支援
- ・時のまち明石の発信（天文科学館のリニューアル）

(6) 効率的・効果的な行政運営

- ・対話と共創のまちづくりの推進（共創プラットフォームによる事業展開）
- ・AI を活用した市政情報の検索・回答システムの実証実験
- ・カスタマーハラスメント対策の推進